

Informatio

Vol.11

江戸川大学の情報教育と環境
～ 江戸川大学情報教育研究所 活動報告 ～

江戸川大学 情報教育研究所

Edogawa University
Institute of Information Studies

Informatio Vol.11

目 次

はじめに	1
波多野 和彦	
特集：第1回 情報教育研究会 IN 江戸川大学	
開催趣旨（プログラム）	3
共通教科「情報」で汎用的な問題解決力をどう育てるか	5
～『情報的な見方・考え方』を育てるための視点～	
松田 稔樹	
教師が修得すべき情報モラル指導内容の検討	9
玉田 和恵, 松田 稔樹	
スクイークEtoys等を活用した「情報の科学」の指導例	17
谷川 佳隆	
キャリア教育をテーマとした問題解決能力の育成	21
光永 文彦	
高等学校情報科におけるeポートフォリオの活用	23
春日井 優	
【パネルディスカッション】高校の情報教育の現状とこれからの取り組み	25
大学教育2.0 オンライン講義が大学を変える	31
～アダム・スミス「大学論」を基にして「大学および大学教育の価値を」を再考する～	
植田 康孝	
紙地図の掲載に適した観光情報の検討	47
一流山オープンガーデン訪問者のメディア利用の視点から～	
林 香織	
高校生の語彙使用に関する一考察	53
—「全国高校生ケータイ韻文コンテスト」応募作品の分析をもとに—	
林 香織, 佐藤 毅, 廣田 有里	
初級プログラミング教育におけるロボット制御の実習課題	59
高田 正之, 廣田 有里	
世界文化遺産カンボジア・プレアビヒア寺院地区の学校教育とICT活用支援事業	63
(第1報)	
山路 進, 波多野 和彦, 壽福 隆人, 中村 佐里, 岩上 蘭	
執筆要項	71
編集後記	71

はじめに

情報教育研究所 所長 波多野 和彦

教育研究の対象を「情報教育」にかかわる内容や方法を中心とし、昨年度(平成24年度)から改称した「情報教育研究所」も2年目を終えた。前年度に引き続き、

- 1) 情報活用能力の育成と効果的な学習支援にかかわる研究
- 2) 情報モラル指導法の開発と効果検証にかかわる研究
- 3) 本学におけるマルチメディア活用教育の高度化にかかわる実践的研究
- 4) ICTの装置やシステムの設計・評価等が、教育や学習に及ぼす効果にかかわる実践的研究

を活動の柱とし、今年度は情報モラル教育や問題解決を主題に、高等学校の先生方と共に開催した(情報文化学科による)**情報教育研究会**の記録、大学でのオンライン講義等にかかわる検討、教育活動のためにインターネット等のメディアを活用した事例、本学の専門教育分野で、これまであまり扱われなかった「制御」を題材にした体験的な学びの事例などが報告され、時代の流れを感じる。

さらに今年度、情報教育研究所ははじめての客員研究員を迎え、新たな活動への広がりも期待できる状況となった。

既に、高等学校段階では、情報処理教育の入門的な位置づけではなく、万人を対象とする内容を扱うことを意識し、単なるパソコンの操作技能修得のみならず、情動的な見方や考え方を踏まえた、第二世代とも言える**共通教育「情報」**として、新学習指導要領に基づいた実践が始められている。

現状では、未だ情報教育研究所としての統一的な教育研究活動には至っていないが、今後、個別的研究報告だけでなく、本学の特徴である情報化を鑑みた上での、基礎教養教育から専門教育に至る道筋を踏まえた情報教育について、育成すべき能力や(カリキュラムの)目標構造等への教育的な視点に基づく検討が強く望まれる。

引き続き、学内外の人材も交えた教育研究の成果や情報の交流を活発化させたいと願っている。

皆様方のご支援とご協力を期待する次第です。

